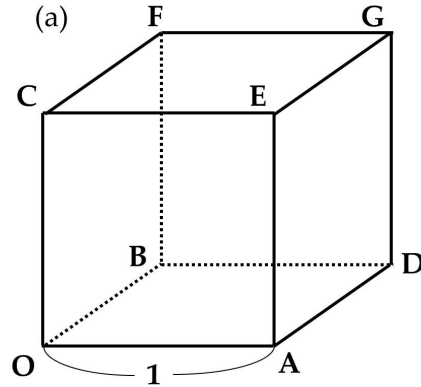


問題1 [ベクトルの外積]

下図(a)の立方体において、以下の外積ベクトルを $\vec{a} = \vec{OA}$, $\vec{b} = \vec{OB}$, $\vec{c} = \vec{OC}$ を用いて表せ.



- (1-1) $\vec{DB} \times \vec{DA}$ (1-2) $\vec{OA} \times \vec{OC}$ (1-3) $\vec{AD} \times \vec{AE}$ (1-4) $\vec{CE} \times \vec{CA}$ (1-5) $\vec{CG} \times \vec{CE}$

解説

ベクトル \vec{a}, \vec{b} の外積 $\vec{a} \times \vec{b}$ は,

(a) 向き： \vec{a}, \vec{b} の両方に垂直で， \vec{a}, \vec{b} の向きに右ねじの方向

(b) 大きさ： $|\vec{a}||\vec{b}|\sin\theta =$ 平行四辺形の面積

のベクトルである.

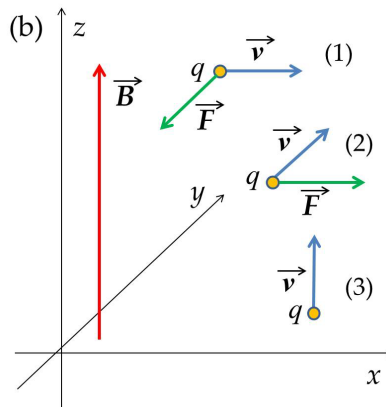
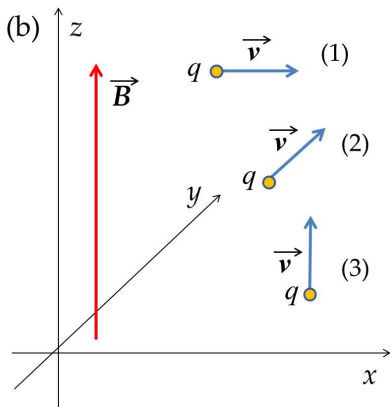
解答

- (1-1) $\vec{DB} \times \vec{DA} = \vec{c}$ (1-2) $\vec{OA} \times \vec{OC} = -\vec{b}$ (1-3) $\vec{AD} \times \vec{AE} = \vec{a}$
 (1-4) $\vec{CE} \times \vec{CA} = \vec{b}$ (1-5) $\vec{CG} \times \vec{CE} = -\vec{c}$

問題2 [ローレンツ力]

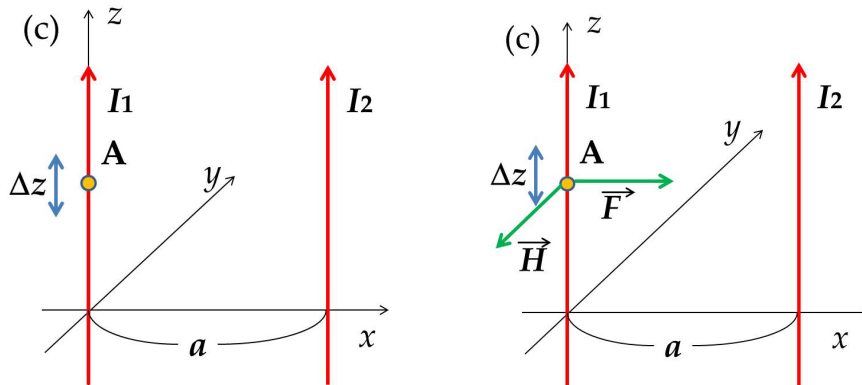
下図(b)のように， z 軸方向の一様な磁束密度 $\vec{B} = (0, 0, B_z)$ の中を電荷 q が速度 \vec{v} で運動しているとき，電荷が受ける力 \vec{F} を求め，図中に描きこめ.

- (2-1) $\vec{v} = (v_x, 0, 0)$ (2-2) $\vec{v} = (0, v_y, 0)$ (2-3) $\vec{v} = (0, 0, v_z)$



問題 3 [平行電流に働く力]

下図 (c) のように、原点を通り z 軸正方向に電流 I_1 が、 $(a, 0, 0)$ を通り z 軸正方向に電流 I_2 が流れている。



(3-1) 電流 I_2 が点 A に作る磁場 \vec{H} を求め、図中に描きこめ。

磁場の大きさは $H = \frac{I_2}{2\pi a}$ であり、その方向は右ねじの法則により y 軸負の方向であるので、 $\vec{H} = \left(0, -\frac{I_2}{2\pi a}, 0\right)$ である。

(3-2) 電流 I_1 の導線の電荷密度 (単位長さの導線中にある電荷の量) を λ とするとき、図中の Δz の部分にある電荷量 q を求めよ。

$$q = \lambda \Delta z$$

(3-3) 電流 I_1 中の電荷の速度を v とするとき、電流 I_1 を λ, v で表せ。

微小時間 Δt の間に導線の断面を通過する電荷量は前問の結果より、 $\Delta q = \lambda(v\Delta t)$ なので、電流は $I_1 = \Delta q / \Delta t = \lambda v$ となる。

(3-4) 問題 (3-2) で求めた電荷 q が、電流 I_2 が作る磁場から受ける力 \vec{F} を求め、図中に描きこめ。

速度 $\vec{v} = (0, 0, v)$ で運動する電荷 $q = \lambda \Delta z$ が磁束密度 $\vec{B} = \mu_0 \vec{H} = \left(0, -\frac{\mu_0 I_2}{2\pi a}, 0\right)$ から受けるローレンツ力 \vec{F} は、

$$\vec{F} = q\vec{v} \times \vec{B} = (\lambda \Delta z)(0, 0, v) \times \left(0, -\frac{\mu_0 I_2}{2\pi a}, 0\right) = (\lambda \Delta z) \left(v \frac{\mu_0 I_2}{2\pi a}, 0, 0\right) = \frac{\mu_0 I_1 I_2}{2\pi a} \Delta z (1, 0, 0)$$

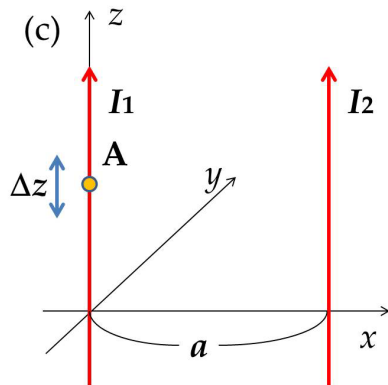
なので、 x 軸正の方向で、その大きさは $F = \frac{\mu_0 I_1 I_2}{2\pi a} \Delta z$ である。

(3-5) 同方向に流れる平行電流の間に働く力は、引力か、斥力か？

引力

問題 4 * [ビオサバールの法則, 直線電流が作る磁場]

下図 (c) において, (無限に長い) 直線電流 I_1 が作る磁場を計算する.



(4-1) 点 $(a, 0, 0)$ にある磁荷 q_m が点 $(0, 0, z)$ に作る磁場 \vec{H}_0 を求めよ.

磁荷の位置 $(a, 0, 0)$ から点 $(0, 0, z)$ へのベクトル \vec{r} は $\vec{r} = (0, 0, z) - (a, 0, 0) = (-a, 0, z)$ であるので,

$$\vec{H}_0 = \frac{q_m}{4\pi\mu_0} \frac{\vec{r}}{r^3} = \boxed{\frac{q_m}{4\pi\mu_0} \frac{(-a, 0, z)}{(a^2 + z^2)^{3/2}}}$$

(4-2) この磁場により, 電流 I_1 の z と $z + \Delta z$ の間にある電荷が受けるローレンツ力 \vec{F} を求めよ. 問題 (3-2) と同様に導線の電荷密度を λ とすると, $q = \lambda\Delta z$, $I_1 = \lambda v$ より,

$$\begin{aligned} \vec{F} &= q\vec{v} \times \vec{B} = q\vec{v} \times \mu_0 \vec{H} \\ &= (\lambda\Delta z)(0, 0, v) \times \frac{q_m}{4\pi} \frac{(-a, 0, z)}{(a^2 + z^2)^{3/2}} \\ &= \frac{q_m \lambda \Delta z}{4\pi(a^2 + z^2)^{3/2}} (0, 0, v) \times (-a, 0, z) \\ &= \frac{q_m \lambda \Delta z}{4\pi(a^2 + z^2)^{3/2}} (0, -av, 0) \\ &= \boxed{\frac{aq_m I_1 \Delta z}{4\pi(a^2 + z^2)^{3/2}} (0, -1, 0)} \end{aligned}$$

(4-3) 作用反作用の法則により, 電流 I_1 の z と $z + \Delta z$ の間にある部分が点 $(a, 0, 0)$ に作る磁場 $\Delta\vec{H}$ を求めよ.

$$\Delta\vec{H} = -\vec{F}/q_m = \boxed{\frac{aI_1 \Delta z}{4\pi(a^2 + z^2)^{3/2}} (0, 1, 0)}$$

(4-4) 上の結果を積分することにより, 電流 I_1 が点 $(a, 0, 0)$ に作る磁場 \vec{H} を求め, 図示せよ.

$$\vec{H} = \int_{-\infty}^{\infty} \frac{aI_1 dz}{4\pi(a^2 + z^2)^{3/2}} (0, 1, 0) = \frac{aI_1}{4\pi} (0, 1, 0) \int_{-\infty}^{\infty} \frac{dz}{(a^2 + z^2)^{3/2}}$$

$$z = a \tan \theta \text{ とすると, } \begin{array}{ccc} z & | & -\infty \rightarrow \infty \\ \theta & | & -\pi/2 \rightarrow \pi/2 \end{array},$$

$$a^2 + z^2 = a^2(1 + \tan^2 \theta) = \frac{a^2}{\cos^2 \theta}, \quad dz = \frac{a d\theta}{\cos^2 \theta} \text{ より,}$$

$$\vec{H} = \frac{aI_1}{4\pi} (0, 1, 0) \int_{-\pi/2}^{\pi/2} \frac{1}{\frac{a^3}{\cos^3 \theta}} \frac{a d\theta}{\cos^2 \theta} = \frac{I_1}{4\pi a} (0, 1, 0) \int_{-\pi/2}^{\pi/2} \cos \theta d\theta = \frac{I_1}{4\pi a} (0, 1, 0) [\sin \theta]_{-\pi/2}^{\pi/2}$$

$$= \frac{I_1}{2\pi a} (0, 1, 0)$$

(4-5) 同様に、電流 I_1 が点 $(0, a, 0)$, $(-a, 0, 0)$, $(0, -a, 0)$ に作る磁場を求め、図示せよ。

全く同様の計算で、 $\frac{I_1}{2\pi a} (-1, 0, 0)$ $\frac{I_1}{2\pi a} (0, -1, 0)$ $\frac{I_1}{2\pi a} (1, 0, 0)$ を得る。

